

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

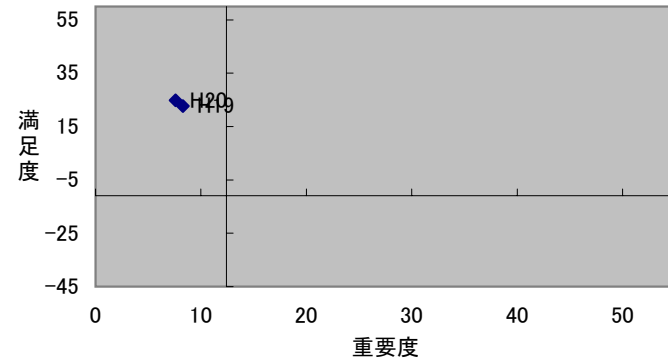
施策名 (小項目)	下水道	コード 01-01-10	作成者	役職	下水道課長
			氏名	竹林 幸一	
			電話	0869-66-9701	

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民が健康で快適な生活を享受し、豊かさを実感できる地域づくり及び海域・河川など公共用水域の水質保全、浸水防除を目的とした事業である。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	事業費が多額で借債償還経費の増加等により、市財政逼迫の一因となっている。施設に関しては、維持管理経費の節減と使用料の定期的な見直しなどによる経営の安定化が必要である。また、21年4月からの「地方公共団体財政健全化法」の施行へ向けた公営企業会計の導入を進める。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道の整備</li> <li>公共下水道計画区域外への対策</li> <li>雨水対策の推進</li> <li>水洗化の促進</li> <li>適正な維持管理</li> <li>建設財源の確保</li> <li>健全財政の維持</li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	8.3	7.6	
満足度(%)	22.7	24.8	



高	<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要	<維持領域> 現状の方向を継続
低	<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要	<強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等	汚水整備完了の日生・吉永地区市民の満足度は高いが、備前・三石処理区の未整備地区では早急な整備が望まれており、満足度は低い。また、合併後の公共料金改定の中でも、日常生活に直結する上下水道使用料金アップに対する不満度は高いと考えられる。
---------------------	--

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 整備率	目標	%	65.1	66.5	71.5	72.5	80.0	95.0	到達目標年度の延期を見直し
	実績	%	65.1	70.0	71.0				
	達成率	%	100.0	105.3	99.3				
2 水洗化率(接続率)	目標	%	100	100	100	100	100	100	全体の水洗化率
	実績	%	87.6	87.2	89.1				
	達成率	%	87.6	87.2	89.1				
3 放流水質(COD・BOD)	目標	mg	15	15	15	15以下	15以下	15以下	放流基準値 COD30mg/l BOD30mg/l
	実績	mg	9.7	12.0	11.3				
	達成率	%	154.6	125.0	132.7				
4 処理水量(全処理場)	目標	m <sup>3</sup>	6,843,385	6,843,385	6,843,385				4処理場の年間処理水量
	実績	m <sup>3</sup>	3,220,660	3,384,184	3,176,097				
	達成率	%	47.1	49.5	46.4				

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20 当初予算 直接 事業費		
				H17			H18			H19					
				直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数	直接 事業費	人件費	人工数			
1 公共下水道施設整備事業	B	管渠整備事業	国県補助事業	610,295			555,030			376,736	24,412	3.92	☆☆☆	\$\$\$	459,450
		施設改築事業	国県補助事業	44,200			282,002			291,610	4,195	0.45	☆☆	\$\$\$	288,920
		認可変更委託業務	法定事務				3,744			20,244	931	0.10	☆☆☆	\$\$\$	0
		水道管外移設補償事業	その他単市	83,665			42,144			38,559	93	0.01	☆☆	\$\$\$	60,000
2 浄化槽設置補助事業	C	浄化槽設置補助事業	国県補助事業	18,621	1,925	0.25	16,432	2,140	0.30	13,581	1,964	0.26	☆☆☆	\$\$\$	20,904
3 雨水施設整備事業	B	管渠整備事業	国県補助事業	126,320			77,028			70,477	8,008	1.28	☆☆☆	\$\$\$	73,268
		ポンプ場整備事業	国県補助事業	7,644	6,450	0.75	167,694	11,800	1.60	466,048	1,956	0.21	☆☆☆	\$\$\$	308,000
		水道管外移設補償事業	その他単市	1,888			946			497	93	0.01	☆☆	\$\$\$	1,000
4 水洗化普及事務	C	啓発事務	その他単市	509			164			574	318	0.05	☆☆☆	\$\$\$	415
		水洗便所改造資金融資斡旋事務	法定事務	17	3,135	0.35	38	380	0.05	41	150	0.02	☆☆☆	\$\$\$	89
5 公共下水道施設管理事業	C	浄化センター外管理事業	施設維持管理	304,712	31,030	3.85	300,941	27,070	3.30	292,309	29,864	3.38	☆☆	\$\$\$	289,638
		管渠施設管理事業	施設維持管理	16,238			14,899			36,825	1,447	0.24	☆☆	\$\$\$	43,431
6 農業集落排水施設管理運営事業	B	農業集落排水施設管理運営事業	施設維持管理	16,152	1,780	0.25	26,220	2,055	0.32	29,094	467	0.06	☆☆	\$\$\$	56,099
7 漁業集落排水施設管理運営事業	C	漁業集落排水施設管理運営事業	施設維持管理	20,649	2,255	0.25	19,658	3,085	0.35	21,817	1,263	0.13	☆☆	\$\$\$	24,969
8 個別排水処理施設管理運営事業	C	個別排水処理施設管理運営事業	施設維持管理	16,333	1,275	0.20	17,393	830	0.15	19,845	500	0.05	☆☆	\$\$\$	23,201
9 排水設備検査事務	B	排水設備検査事務	法定事務	0	7,875	1.20	0	6,600	1.05	0	3,123	0.45	☆☆	\$\$\$	0
10 受益者負担金賦課徴収事務	C	受益者負担金賦課徴収事務	内部管理	12,173	4,620	0.70	16,247	5,070	0.65	14,328	3,492	0.46	☆☆	\$\$\$	10,817
11 下水道財政管理運営事務	C	下水道審議会運営業務	内部管理	124			176			59	100	0.01	☆☆	\$\$\$	0
		日本下水道協会負担金	内部管理	157			159			206	100	0.01	☆☆	\$\$\$	159
		日本下水道協会中四国支部負担金	内部管理	31	7,225	0.85	32	8,240	0.95	32	100	0.01	☆☆	\$\$\$	42
		日本下水道協会岡山県支部負担金	内部管理	149			125			127	100	0.01	☆☆	\$\$\$	165
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				4,079,651	120,075	16.10	3,995,629	109,555	15.02	4,479,122	89,476	11.85	5,712,682		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
水道課	使用料徴収委託 水道管移転補償	水道使用料とのセット徴収による徴収率アップ及び事務の効率化 工事の連携による経費の削減

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	3	整備目標到達(年度)は厳しい状況である。市民要望や財政面から整備区域・整備手法の再検討により、目標達成へ向け効率的な整備を行う。	3	目標とする整備年度及び整備区域の再検討を早期に行うこと。
2 事業構成の適当性	3	事業の長期化による地域間格差解消のため、整備手法等の見直しによる効率的かつ迅速な整備が必要である。	3	工法の検討及び効率的整備等を考え効果的に実施すること。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	3	下水道普及率の向上に伴い市民生活の環境改善と公共用水域の水質保全が図られた。	3	下水道の整備による水洗化等により市民の環境整備を促進すること。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	整備方針を明確にし、市民要望に沿った効率的な整備を進める。施設運営については、効率的な管理体制の確立と安定した収入の確保を目指す。		同左	
二次評価者コメント 役職 上下水道部長 氏名 田代 准	目標達成のため早期に整備計画を見直し効率的に計画区域を整備し下水道の普及促進を図るよう努力すること。			基本施策への貢献度 <b>3中立</b>

